

キャッシュレス決済プレミアムポイント事業【第2弾】の実施結果について

「新しい生活様式」の一つである「キャッシュレス決済」を促進しつつ、市内経済の活性化を後押しするため実施した、キャッシュレス決済プレミアムポイント事業【第2弾】の結果を報告します。

1 事業の概要

	第2弾	第1弾
キャンペーン名	【第2弾】いこいこ町田! Pay Pay使って“うふふ”な買い物最大20%戻ってくるキャンペーン	いこいこ町田! Pay Pay使って“うふふ”な買い物最大20%戻ってくるキャンペーン
キャンペーン期間	2021年6月1日～6月30日 (1ヶ月間)	2020年12月1日～2021年1月31日(2ヶ月間)
ポイント付与率	決済金額の最大20%	
ポイント付与上限	1,000円相当/回 3,000円相当/期間	5,000円相当/回、1万円相当/月 2万円相当/期間
対象店舗	市内Pay Pay加盟店	
対象業種	大手チェーン含む全業種 ※公共サービス・病院・調剤薬局・保険・金券ショップ等は除く	
対象店舗(箇所)数	【終了時】約5,100箇所	【終了時】約4,000箇所
予算額	4月補正予算額:約6.39億円 (ポイント付与分:約6.25億円、 事務費分:0.14億円)	7月補正予算額:12億円 3月補正予算額:4.8億円 計:16.8億円 (ポイント付与分:16.2億円、 事務費分:0.6億円)

2 実施結果

	第2弾	第1弾
決済総額	約38.0億円 (1日平均:約1.27億円) 前期比(※)266%	約92.1億円 (1日平均:約1.49億円) 前期比(※)652%
ポイント付与額	約5.0億円 (1日平均:約0.17億円)	約16.3億円 (1日平均:約0.26億円)

※キャンペーンの前期間比(第2弾は2021年5月比較、第1弾は2020年10・11月比較)

	第2弾	第1弾
決済回数	約208万回 (1日平均：約6.9万回)	約355万回 (1日平均：約5.7万回)
利用者数	約30.4万人 前期比(※)161%	約28.4万人 前期比(※)184%
1人あたりの決済回数	約6.9回 前期比(※)128%	約12.5回 前期比(※)205%
決算 (第2弾は決算見込額)	歳出：事業業務委託料 510,167,295円 (事業業務委託料内訳) ポイント付与額： 498,060,018円 販促費・プロモーション費： 12,107,277円 歳入：(国)新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 174,530,295円 (都)東京都生活応援事業補助金 335,637,000円	歳出：事業業務委託料 1,683,370,761円 (事業業務委託料内訳) ポイント付与額： 1,626,181,987円 販促費・プロモーション費： 57,188,774円 歳入：(国)新型コロナウイルス感染症 対応地方創生臨時交付金 1,294,453,761円 (都)東京都市町村新型コロナウイルス 感染症緊急対策特別交付金 388,917,000円

※キャンペーンの前期間比(第2弾は2021年5月比較、第1弾は2020年10・11月比較)

3 広報活動

(1) 屋外広告

- ・ペDESTリアンデッキへのポスターの掲出

(2) 公共交通機関での広告

- ・町田営業所発の神奈川中央バス全車両にて車内広告の掲出(計125台)
- ・小山田桜台・多摩南部地域間運行バス及び町田市民バスまちっこにて車内広告の掲出(計6台)

(3) チラシ広告の新聞折込及びポスティング

- ・市内の新聞購読(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京)をしている世帯に折込にてチラシ広告を配布
- ・新聞購読者以外を対象に、市内在住者へポスティングにてチラシ広告を配布

(4) 自主協力

- ・南町田グランベリーパーク内デジタルサイネージ及びLEDビジョンへ掲出
- ・町田ジョルナ内デジタルサイネージ及び館内掲示可能エリアへ掲出
- ・レミィ町田内へポスターを掲出

(5) メディア掲載

- ・新聞掲載（武相新聞、タウンニュース、町田ジャーナル）
- ・WEB 掲載（相模原町田経済新聞、まちさが一町田&相模原情報サイト、号外ネット、PRタイムス）
- ・テレビ（日本テレビ「有吉ゼミ」）

4 相談体制

(1) 町田商工会議所窓口相談（2021年5月6日～5月31日）

町田商工会議所にて、市内事業者からの窓口相談を実施。

	事業者
相談件数(人数)	4

(2) 市庁舎窓口相談（2021年5月12日、26日、6月2日から23日までの水曜日）

市庁舎（9-3会議室）にて、消費者及び市内事業者向けの個別相談会を実施。

	消費者	事業者	合計
相談件数(人数)	14	0	14

(3) 委託事業者の市内提携ショップでの使い方相談

市内ソフトバンクショップ・ワイモバイルショップでのアプリの利用に関する相談を受付。

期間：2021年6月1日（火）～6月30日（水）

店舗：市内12か所

5 アンケート結果

(1) 事業者（加盟店）へのアンケート

調査対象：キャンペーン参加加盟店

調査方法：PayPay（株）がメール配信にてアンケートを実施

1,816通に対して149通の回答（回答率：8.2%）

調査期間：2021年7月7日（水）～7月11日（日）

【結果（抜粋）】

- ・店舗の売上が増えたと回答した事業者が約50%、来店客数が増えたと回答した事業者が約35%
- ・（コメント）自治体との連携で60代以上の方にも浸透してきたと思います。来店促進につながりありがたいです。
- ・（コメント）コロナで厳しい時期にキャンペーンをしていただきとても助かりました。

(2) 消費者（利用者）へのアンケート

調査対象：町田市在住者及び町田市に週1回以上来訪する者

調査方法：PayPay（株）がインターネットのモニター調査方式にて、無作為抽出アンケートを実施。町田市人口構成比に基づいて、男女20～60代の1,000サンプル（市内在住者941+町田市週1回以上来訪者59）件。

調査期間：2021年7月1日（木）～7月5日（月）

【結果（抜粋）】

- ・キャンペーン認知率は77.1%となった。
- ・キャンペーン参加者のうち、75.4%が期間中の買い物頻度が増加したと回答。
- ・キャンペーン参加の主な理由として、「お得なキャンペーン」「よく行くお店で使える」が上位となったが、約1/4の人が「町田市を応援したい」と回答。
- ・キャンペーン参加者の今後のキャッシュレス利用意向は96.5%となった。
- ・キャンペーン参加率を性年代別で見ると、第1弾と同様に男性30代、女性30～50代の参加率が高く、同時に男性50代、女性20代、60代でも参加率が伸び、幅広い層にキャンペーンが広まっている。

	第2弾	第1弾
①キャンペーン認知率	77.1%	75.4%
②キャンペーン参加率	48.3%	43.1%
③今後のキャッシュレス利用意向	96.5%	97.2%

6 実施結果に対する考察

・消費者（利用者）へのアンケート結果では、今回のキャンペーンによって獲得したポイントについて、9割近くの人が、「町田市内で使う」と回答しており、決済総額が約38億円、付与されたポイント約5億円の再消費分を考慮すると40億円以上の経済効果を生み出したことで、「市内経済の活性化」を後押ししました。

・利用者の今後のキャッシュレス利用意向は約97%となりました。そのうち、本事業により初めてQRコード決済を利用した方の9割以上が、継続利用の意向を示したことに加え、対象店舗数が第1弾終了時からさらに約1,100箇所増えたことから、新型コロナウイルス感染症対策の「新しい生活様式」の一つである「キャッシュレス決済」の更なる促進につながりました。

・第2弾は、第1弾よりも短期間かつポイント付与上限を低く設定したキャンペーンであったにもかかわらず、利用者数が増加しており、第1弾よりもキャンペーンの認知率・参加率ともに高い結果となりました。このことから、2回のキャンペーンを実施した結果、市内において、キャッシュレス決済が急速に浸透したと考えられます。